

各 位

上場会社名	ワインテ스트株式会社
代表者	代表取締役社長 奈良 彰治
(コード番号	6721 )
問合せ先責任者	専務取締役 樋口 真康
(TEL	045-317-7888)

## 通期業績予想に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、従来未定としておりました平成29年7月期通期の業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成29年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	229	△186	△183	△205	△18.46
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年7月期)	213	△213	△222	△226	△34.80

#### 修正の理由

平成29年7月期におきましては、前期に引き続き、顧客の新たな要求に対応するための製品仕様の変更に時間を要したことと、中国における一時的な設備投資計画の順延等により受注高が伸び悩み、売上高が前事業年度比7.7%増の229百万円にとどまりました。

損益面につきましては、経費の節減等により営業損益の改善に努めましたが、M&Aに係る費用の発生及び新株発行等に係る費用の発生などから販売管理費は前期を上回ったものの、製品原価率の改善から、営業損失は前期比較で縮小し、当期純利益につきましても製品原価率の改善が奏功し、平成29年8月29日に公表いたしました、「特別損失(減損損失)計上に関するお知らせ」とおり、保有する固定資産24百万円を特別損失に計上いたしましたが、損失は前期比較で縮小しました。

また、業績予想の発表が本日に至りましたのは、既述の製品仕様の変更完了及び当該製品の売上計上時期が期末となつたことと、特別損失の計上や子会社の取得に起因する集計作業が社内で手間取つたことが主因であります。

なお、平成29年7月期におきましては、連結財務諸表の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、上記は個別損益計算書上の数値であります。

以 上